

エネルギー環境教育のひろば

北海道エネルギー環境教育研究委員会
広報部会
2013.7.16発行
第29号



平成25年度総会開催

平成二五年五月一日(土) ホテルライフ オート札幌を会場に平成二五年度の総会が五十名余りの会員や各支部、来賓が参加し、盛大に開催された。
委員長の挨拶に続き平成二五年度の役員・顧問・理事の紹介があり、その後平成二四年度活動報告、平成二五年度活動計画、第五回

北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会を本年十一月に開催することなどが確認された。
引き続き講演では、「南極越冬物語」と題して第四十六次越冬隊に参加された旭川工業高等学校 教授 古崎 睦氏より南極越冬隊の生活や南極から見た地球環境についてなど興味深いお話をいただいた。
南極越冬物語
南極越冬隊の越冬服とシニ



「南極越冬物語」
～第46次日本南極観測隊に参加して～
旭川工業高等学校 教授 古崎 睦氏
世界と過酷な環境での仕事の様子や日常の生活の様子をお話しいただいた。特に昭和基地より1000kmも内陸部にあるドーム基地での氷河ボーリング調査で氷に封じ込められた空気から過去の地球環境が分かってくることや南極大陸の氷河の溶け方などから地球温暖化を実感することができた。
オーロラやペンギンなどたくさん写真や映像も交え、ユーモアたっぷりであつという間の七十分にも忘れて講演に聴き入ってしまった。地球温暖化を再認識するとともに楽しい時間を過ごした。

平成二十五年度活動に向けて 委員長 稲重丸 裕

東日本大震災、それに続く原子力発電所事故により未だ多くの方が避難生活をされておられ、心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興を祈念しております。

さて、本委員会が目指す研究は、「二十一世紀を担う子どもたちが「エネルギー環境」について自ら進んで主体的に学び、考え、「生きる力」を子どもたち自らが身に付けていくこととあります。
学校ですぐに生かせる授業づくりを第一とし、それに関連する内容の研究と実践に努めて参りました。特に、エネルギー環境の定義並びに研究仮説を基に、エネルギーを軸教材・切り口にした授業を構築・展開し、エネルギー環境教育の在り方に立発寒南小学校ならびにホテル

について深めてきました。今後、道南・旭川・道東の三支部を含め、本委員会に所属する三百名を超える小・中・高・大学等の会員の皆様の力を結集し、全道各地の先生への発信と新しい会員の参加により、更に新しい会員の参加により、更に願ひ申し上げます。



ライフオート札幌を会場に第五回北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会を開催する運びとなっております。多くの皆様に参加していただけますようお願い申し上げます。

- 北海道「エネルギー環境教育研究委員会」役員紹介
- 【委員長】 稲重丸 裕 札幌真駒内曙中学校長
 - 【幹事長】 本間 玲 札幌稲積中学校長
 - 【幹事】
 - 開発部会長 加茂谷 勝 札幌ひばりが丘小学校長
 - 研究部会長 清水禎一 札幌手稲西中学校長
 - 広報部会長 山本 豊 札幌発寒南小学校長
 - 高校代表 齋藤 隆 札幌白石高校長
 - 大学代表 杉山憲一郎 北大名誉教授
 - 【理事】
 - ※新井弘通 札幌元町北小学校長
 - 山本 豊 札幌発寒南小学校長
 - ※中島啓子 札幌南小学校長
 - ※細矢ともえ 札幌本通小学校長
 - ※小池千秋 札幌西岡北中学校長
 - 中谷広一 札幌西野第二小学校長
 - 榎並典昭 札幌西陵中教頭
 - 南 博 札幌月寒中学校長
 - 鹿野内憲一 札幌北野中学校長
 - 青柳明典 札幌北菜中学校長
 - 奈良林直 北大大学院教授
 - 鈴木洋美 北斗大野小学校長
 - 鐘ヶ江義道 旭川東光小学校長
 - 松田洋一 釧路美原中学校長

※は新任役員

部会報告

【研究部会】

平成二四年度は第四回研究会研究主題、副主題、研究仮説等を継続し定着や深化および広めることができました。特に授業交流会での授業者で共通理解を図り、授業づくりに臨んでいただいた点や道東大会の紀要にも掲載していただき、授業分科会の助言者が直接説明させていただくなど大いに定着・深化できました。授業実践がかなり進み、授業内容の蓄積が図られた。特に中・高の公開授業交流が実現した。勉強会は「エネルギーと太陽光発電」の講演と実験、グループ討議と好評だった。

【開発部会】

これまでに作成した人材マップやバンクの見直しに着手、これまででの大会の指導案を電子化し公開することを目標に、第一〜四回道大会の学習案等のPDF化を終え、HP掲載の検討をした。道内視察は日本製鋼所室蘭製作所見学を企画実施した。

【広報部会】

今年度も年三回の広報紙「ひろば」を計画的に発行し各号毎に特集を組むなど内容の充実を

図った。二月の全体研修会では「基礎から学ぶ放射線」が大変好評だった。また、創立十周年記念誌の編纂に携わり、貴重な十年の歩みがわかる記念誌が完成した。

道内視察

七月三十日(火)〜三十一日(水)

道内施設視察会

場所…京極町揚水発電所 他

九月九日(月)

第四回実行委員会(②運営委)

十一月八・九日(金・土)

第五回研究大会札幌大会

授業会場(一日目)

発寒南小学校

全体会会場(二日目)

ホテルライフォート札幌

一二月十六日(月)

第三回運営委員会



二月十五日(土)

全体研修会

ホテルライフォート札幌三月

十七日(月)

第四回運営委員会

支部活動計画

【道南支部】

「かけがえのない自然環境を守り、エネルギー環境問題を自らの問題として考え、主体的に学び行動する子どもの育成」を研究主題に社会・理科・特活・総合で研究授業を行う。ガス副読本を活用する。ほくでん知内火力発電所の見学、放射線の学習会を計画する。

【旭川支部】

授業参観と講演会を企画する。(日時は未定)各校種の理科研と連携し、六月、十月の研修会・研究大会に参加。技術家庭科、家庭科連盟、家庭科部会とも連携・協力を図り研修会等への参加を呼びかける。

【道東支部】

支部広報紙「エネルギー環境教育だより」の発行や道東大会への

の参加を呼びかけたり、十一月には釧路市立美原中学校で梅津陽平教諭による理科の公開授業研究会を開催する予定。また、昨年度の研究成果を八月に行われる日本エネルギー環境教育学会で発表する。

札幌大会概要

五回目の節目となる研究大会一日目を札幌市立発寒南小学校を会場に十一月八日(金)十二時半より開催します。

小学校は四年生社会科、四年生理科、五年生総合、六年生家庭科の四授業。

中学校は一年生技術・家庭科、二年生社会科、三年生理科の三授業。

高校は二年生物理の計八授業が公開されます。

研究主題は「生きる力」を培うエネルギー環境教育の実践」副主題は「持続可能な社会をめざし、自ら行動する力を育むエネルギー環境教育」です。

授業分科会後はレセプションも用意され、より深い交流ができるようになっておりますので是非ご参加下さい。

二日目(土)は会場をホテルライフォートに移し、九時より授業分科会報告、記念講演が予定されております。

講演は、京都教育大学教育学部 教授 山下 宏文氏をお招きしご講演いただきます。

二次案内を九月中にご案内いたします。多くの方々のご参加をお待ちしています。

最優秀賞受賞

昨年度、第七回電気新聞「エネルギー教育賞」最優秀賞を札幌市立宮の森中学校(森山正樹教諭)が受賞しました。エネルギーを軸教材とした環境教育の実践報告です。

受賞した実践報告および本年度行われる第八回「エネルギー教育賞」の募集については、インターネットで「エネルギー教育ねっと」で検索してください。

北海道エネルギー環境教育研究委員会事務局
連絡先
北海道エナジートーク21
札幌市中央区北条西5丁目
北1条三井ビル2F
Web. address
http://www.enetal.k21.gr.jp
TEL-011(251)9710
FAX-011(251)3974